

事務事業名	特定地域生活排水処理施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課		
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	浄化槽G	課長名	足立 純一	
	施策名	〈15〉下水道の整備		担当者名	上代 真一	電話番号	0854-42-3471	
	目的対象	市民	意図	衛生的な生活環境の中で暮らす。			(内線)	4612
	基本事業	〈041〉下水道施設の整備		予算科目	会計 2:5:1:0:0:1	款 大事業 大事業	特定地域生活排水処理施設整備事業	
目的対象	下水道未整備区域の市民	意図	下水道に排水できるように整備する。			中事業 中事業	特定地域生活排水処理施設整備事業	
					2:0:0:5:0:1	業名	施設整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①雲南市内の集合処理区域外のすべての住民 ②特定地域生活排水処理施設(合併浄化槽)	対象区域内すべての宅内排水を合併浄化槽へ接続し、汚水処理を行えるようにする。合併浄化槽の計画的な補修・更新により長寿命化が図れる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・合併浄化槽の設置 ・単独浄化槽から合併浄化槽への切替の推進 ・設置した合併浄化槽の計画的な補修・更新
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・合併浄化槽の設置・・・34基 ・合計2,929基 ・合併浄化槽の計画的な補修・更新(ブロワ更新、マンホール蓋交換、躯体・仕切版の補修、担体の補充)	・新製品の積極的な採用。低炭素社会対応型浄化槽の導入(ブロワの省エネ等)。 ・分担金の公平性について提言があり、令和元年度に見直しを行った。 ・機器更新に関わる費用が新たに補助対象となったことから、全国に先駆けて長寿命化計画を策定し、この制度を活用した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 接続率	%	73.7	74.1	74.8	75.0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
工事請負費	31,630千円	財源内訳	国庫支出金	千円	10,000	9,300	14,220	17,300
委託料	11,670千円		県支出金	千円				
その他経費	790千円		地方債	千円	26,400	15,900	22,900	28,800
計	44,090千円		その他	千円	4,311	2,700	6,970	12,900
(起債名:過疎債、下水道債)			一般財源	千円				
		事業費計		千円	40,711	27,900	44,090	59,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・整備が進み、公共用水域がきれいになる。 ・水洗トイレが使用できるようになる。 ・合併浄化槽の長寿命化が図れる。
② 事業実施するうえでの課題	・単独浄化槽については、合併浄化槽への切替や集合処理への接続を推進していく必要がある。 ・機器の長寿命化については令和4年度からの事業のため当面は故障した機器からの補修となり計画的な更新を図るには時間がかかる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・単独浄化槽については、合併浄化槽への切替や集合処理への接続を推進していく必要がある。 ・集合処理の面整備は概ね完了しており、浄化槽を整備することが市全体の普及率の向上へにつながるため、未設置者に対し設置を促していく必要がある。 ・大東地区については、汚水処理施設整備構想の中で下水道接続を図る予定としている。 ・当面は故障した機器から順に更新となるが、将来的には予防保全型へシフトすることで補修・部品交換費用の平準化を目指す。 ・令和6年度までに地方公営企業法の適用を行う。